

News Release

平成 24 年 1 月 17 日

接続料金改定の認可申請について

NTT東日本は、本日、総務大臣に対し、平成 22 年度接続会計をもとに算定した平成 24 年度に適用する次世代ネットワーク(NGN)、接続専用線、公衆電話、番号案内等の接続料金について、接続約款変更の認可申請を行いました。

また、併せて、昨年設定した平成 24 年度の加入者光ファイバの接続料金についても、平成 22 年度における予測と実績の差分を補正し、認可申請を行いました。

なお、長期増分費用方式により算定する電話の交換機等の接続料金については、今回の認可申請の対象外です。

1. 接続料金案

別紙のとおりです。

2. 実施時期

総務大臣の認可を得た後、速やかに接続約款の変更を実施します。

本件に関する問い合わせ先

NTT東日本 経営企画部

Tel 03-5359-3960

E-mail kikakur@sinoa.east.ntt.co.jp

(別紙)

サービス別の主な接続料金案

(1) 次世代ネットワーク (NGN) の接続料金

区 分		改 定 後 ^{※2}	現 行 料 金	改 定 率
関門交換機接続ルーティング伝送機能 【IGS接続機能】	3分あたり ^{※1}	4.58円	5.00円	▲8.4%
一般中継局ルータ接続ルーティング伝送機能 【中継局接続機能】	1接続用ポート ごとに月額	5,270,833円	5,416,667円	▲2.7%
一般収容局ルータ接続ルーティング伝送機能 【収容局接続機能】	1収容ルータ装置 ごとに月額	1,454,151円	1,469,335円	▲1.0%

※1 3分あたり料金には、平成23年度IGS交換機接続料0.41円を含んでいます。

※2 今回申請した料金は、平成22年度の実績をもとに平成24年度の費用と需要を予測して設定しています。

(2) 次世代ネットワーク (NGN) のイーサネットフレーム伝送機能等の接続料金

区 分			改 定 後 [※]	現 行 料 金	改 定 率	
イーサネット フレーム伝送 機	MA内設備	100Mb/s	事業者ごと MAごとに月額	543,310円	586,182円	▲7.3%
		1Gb/s		1,496,153円	1,609,194円	▲7.0%
		10Gb/s		4,246,392円	4,517,633円	▲6.0%
	県内中継設備	100Mb/s	事業者ごと 県ごとに月額	296,182円	330,496円	▲10.4%
		1Gb/s		811,190円	904,579円	▲10.3%
		10Gb/s		2,258,563円	2,512,717円	▲10.1%
相互接続用設備		1装置ごとに月額	262,083円	267,083円	▲1.9%	
端 末 回 線 伝 送 機 能	100Mb/s以下	1回線ごとに月額	5,943円	7,492円	▲20.7%	
	1Gb/s以下		10,123円	12,052円	▲16.0%	

※ 今回申請した料金は、平成22年度の実績をもとに平成24年度の費用と需要を予測して設定しています。

(3) 接続専用線等の接続料金

区 分		改 定 後 ^{※3}	現 行 料 金	改 定 率	
一 般 専 用	3.4kHz ^{※1}	1回線ごとに月額	7,813円	7,409円	5.5%
高 速 デ ィ ジ タ ル 伝 送	デジタルアクセス ^{※1} 1.5Mb/s (タイプ1-1)	1回線ごとに月額	45,324円	43,444円	4.3%
A T M 専 用	1Mb/s ^{※1} (通常クラス)	1回線ごとに月額	160,475円	139,989円	14.6%
メ ガ デ ー タ ネ ッ ツ	500kb/s ^{※2} (クラス1・速度保証)	1回線ごとに月額	28,039円	26,090円	7.5%

※1 接続専用線については、MA内の場合

※2 メガデータネッツについては、端末回線伝送機能(3Mb/s)の場合

※3 今回申請した料金は、平成22年度における実績収入と実績原価との差額(調整額)を平成22年度実績費用に加減して設定しています。

(4) 公衆電話、番号案内の接続料金

区 分		改 定 後 [※]	現 行 料 金	改 定 率
公衆電話発信機能	1秒ごとに	0.8996円	0.9975円	▲9.8%
デジタル公衆電話発信機能	1秒ごとに	0.5647円	0.6131円	▲7.9%
番号案内サービス接続機能	IC接続 1案内ごとに	86円	76円	13.2%

※ 今回申請した料金は、平成22年度における実績収入と実績原価との差額（調整額）を平成22年度実績費用に加減して設定しています。

(5) 中継光ファイバ、DSL接続の接続料金

区 分		改 定 後 ^{※3}	現 行 料 金	改 定 率
中継光ファイバ	1芯・1メートル あたり月額	0.597円	0.797円	▲25.1%
DSL接続	ラインシェアリング	※1 88円	77円	14.3%
	ドライカップ	※2 1,298円	1,272円	2.0%

※1 DSL接続(ラインシェアリング)については、回線管理運営費(1回線ごとに月額50円)を含んでいます。

※2 DSL接続(ドライカップ)については、回線管理運営費(1回線ごとに月額51円)を含んでいます。

※3 今回申請した料金は、平成22年度における実績収入と実績原価との差額（調整額）を平成22年度実績費用に加減して設定しています。

(6) 加入者光ファイバの接続料金

区 分		改 定 後 ^{※2}	現 行 料 金	改 定 率
加入者光ファイバ	1芯ごとに月額	3,403円	4,194円	▲18.9%
シェアードアクセス方式の主端末回線 ^{※1}	1芯ごとに月額	3,013円	3,756円	▲19.8%

上記料金は、タイプ1-1（平日昼間帯に故障対応を行う場合）の1芯あたり月額料金。

※1 シェアードアクセス方式の主端末回線の改定後料金には、毎年度実績原価方式により見直すこととなる局外スプリッタの平成24年度適用料金（99円）を含んでいます。

※2 今回申請した料金は、昨年設定した平成24年度適用料金（加入者光ファイバ：3,568円、シェアードアクセス方式の主端末回線：3,155円）に、平成22年度における予測乖離額（予測収入と予測原価の差分）と実績乖離額との差額を加減して補正（加入者光ファイバ：▲165円、シェアードアクセス方式の主端末回線：▲142円）したものです。

なお、上記料金とは別に、平成24年度のシェアードアクセス方式の分岐端末回線の接続料金（改定後287円、改定前310円）についても見直ししています。

(参考)

平成22年度の利用者向け料金と接続料金の水準の比較

(単位: 億円)

サービス	①利用者 料金収入	②接続料金 相当	③差分 (①-②)
加入電話・ISDN 基本料	4,390	2,737	1,653
加入電話・ISDN 通話料	603	304	299
公衆電話(デジタル公衆を含む)	24	73	▲ 49
番 号 案 内	38	42	▲ 4
B フ レ ッ ツ	2,496	810	1,686
フ レ ッ ツ A D S L	535	102	433
フ レ ッ ツ I S D N	33	11	22
フ レ ッ ツ 光 ネ ク ス ト	986	402	584
ひ か り 電 話	981	355	626
ビ ジ ネ ス イ ー サ ワ イ ド	68	46	22

(注1) 接続料金相当は、各サービスで使用する設備ごとの需要数に今回申請した接続料金を乗じて算定しております。

(注2) 加入電話・ISDN 基本料の接続料金相当には、回線数の増減に応じて当該設備に係る費用が増減するものに係る費用(NTSコスト)の559億円は含んでいません。